正札要求かちとれ

賃金、期末闘争方針決る

宇部でひらかれた炭労第十六回臨時大会の決定にもとづき、十一月五日午前十一時三十分新賃金ならびに期末手当の団体交渉を行い、交渉の窓口、経過措置についての申入れを行い、闘争スケージュールをたてた。

団体交渉申入書

当方組合員の昭和三十一年度下期期末手当及び昭和三十二年一月一日以降鉱員賃金並びに職員給与を貴方と当方との間において団体交渉をもつてとり決めたい。

なお、新賃金決定までの経過措置については左記によりとり決めたいので右交渉申入れます。

更に交渉の具体的なことについては別に協議致したい。

記

一、一月以降賃金は旧協定により仮りに支給し、新賃金決定後ソ及して支給する。

昭和三十一年十一月五日

日本炭鉱労働組合　執行委員長　原　茂

三井鉱山株式会社社長　栗木幹殿

組合　昭和三十一年度下期期末手当及び新賃金について申入れします。

(1)、交渉方式は期末手当、新賃金とも従来通り対角線交渉で行う。

(2)、賃金については新賃金が決まるまで旧協定で仮支給を行い、前賃金決定後ソ及計算をする。経過措置を決定したい

以上の点について七日正午までに文書をもつて回答してもらいたい

会社　結構だと思いますが、協議して七日までに文書回答を致します。

二、交渉メンバー

組合側　炭労岡事務局次長、東海林保安年齢部長、三鉱連執行部、三井連執行部

会社側　長見労働課長、青地福祉課長、塩川課長代理、水町人事課長

対角線交渉に應ず

十一月五日交渉権並びに経過措置に関する交渉を持ち、七日までの期限付文書回答を要求していた処（十一月七日）午前十一時次の通り回答がなされた。

日本炭鉱労働組合
中央執行委員長　原　茂　殿
三井鉱山株式会社　社長　栗木幹

回答書

十一月五日附貴申入書拝領致しました。昭和三十一年度下期々末手当及び昭和三十二年一月一日以降鉱員賃金並びに職員給与に関しては前回の例もありますので、貴方と団体交渉を行うことを諒承致します。

なお、経過措置について回答が記入されていないので、回答を要求した処、次期団交において回答する旨表明された。次期交渉日程は確定されていない。

日程きまる

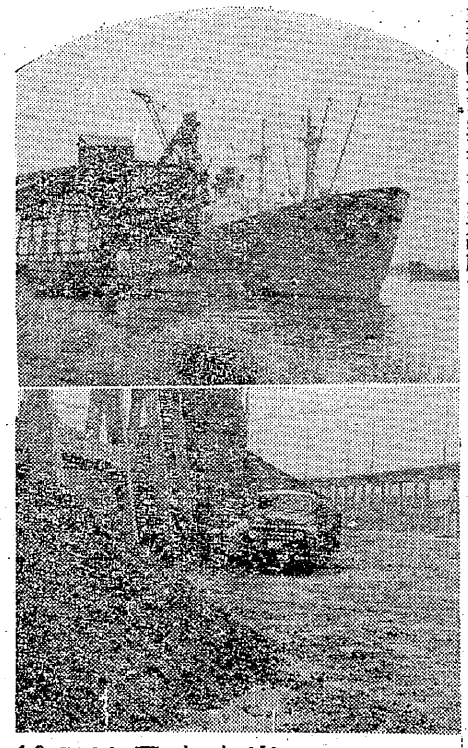
炭労第一回中闘委員会は東京電話によると、十一月九日開催し、今後の期末手当等の日程について次の通り決定した。

◉十一月十三日第一回団交を開き要求内容の説明をする。

◉十一月十九日第二回団交で会社回答を聞く。

◉十一月廿六日以降、職場大会等を含む実力行使態勢に入る。

ことを決定し、戦術としては一社重点闘争方式を採用する。



10月は最高出炭 いま炭界は朝鮮動乱時以上の石炭ブームで出炭即販売という状態貯炭も2万トンを割る好況である。

【写真】上活況づいた石炭積下堅の貯炭場

月	運輸受出炭	操業
1月	173,200屯	24日
2月	188,900〃	25日
3月	28,121〃	16日よりロツクアウト
4月	6,415〃	16日一番方より復帰
5月	185,200〃	26日
6月	174,000〃	26日
7月	172,600〃	26日
8月	159,100〃	25日
9月	174,900〃	25日
10月	200,800〃	27日

前進　労働者の国際連帯性の強化について

最近労働者の国際交流が非常にさかんになつたことは、まことに喜ばしいことである。今年の原水爆禁止第二回長崎大会には多数の外国代表が訪日し、今月十三日には炭労、炭婦協代表が大挙（三十六名）中国を主体として労働者の交流をはかることになつた。またユネスコを通じてインド代表が五名来日し、わが三池には七日訪れ坑内施設や福利施設の見学と、われわれとの懇談などをもつている。

さらに去る七日には中国総工会の代表が十五名来日し一カ月有余にわたつて全国各地を視察し労働者と懇談を行い連帯を深めるということになつている。このようにそれぞれ外国の代表を招き、あるいは外国を訪問して労働者同志がお互いの立場を理解し、話合うということは非常に大きな意義を有するものであると確信する。

× × ×

最近、中近東における動乱、あるいはハンガリーにおける動乱はわれわれ労働者としてまことに憂慮に堪えないものがある。

エジプトの例をとつてみても、どう考えてみてもイギリス、フランスの行動にたいしては理解できない。永年にわたる植民地政策がつぎつぎと崩壊し、最後のあがきとも云えるであろうが余りにも不可解な侵略行為である。これにたいする世界の与論は非常に盛り上りどくに当事者である英国の労働者自体が反対をし、国民運動として侵略政策にたいする弾劾を推し広めているということをきく。

またハンガリーにおける反革命分子にたいするソ連の軍事行動、これにたいしては勿論UP通信やその他の通信による報道のみがわれわれに知らされている今日であるから、正確な判断はできないとしても、何といつても平和は話合いでというソ連第二十回共産党大会の方針が話合いの意義を脱して実力に訴え、反革命分子を鎮圧させるということについては、われわれとして理解に苦しむものであるしかも同一民族が血で血を洗うようなあの状態について、われわれは全く同情を禁じ得ない。

このような二つの国際情勢を中心として世界の動向は刻々と平和を求めて前進しつゝあるということもいがめないが、その中でとくに労働者が国際的な連帯を深めた中で平和を維持するためにシツカリと団結して立上らなければならない段階ではなかろうか。

戦争を行つて労働者が幸福になつたという歴史はかつてない。戦争を防止する最大の実力をもつているものは労働者であるということは、全世界の労働者の共通した考え方であり、基本的な方針でなければならない。この方針を貫徹するためには、あらゆる労働者と手を握り国際的な連帯をますます強化して行くことが平和への大道である、ということを確信する。

こういう意味で各国代表の訪日を心から歓迎するとともに、このような絶好の機会に一人でも多く懇談の機会をもつて、話合いの場を求めなければならない。

また外国を訪問する代表者も積極的に送り出し、日本のおかれている立場を全世界の労働者に訴えると同時に、個々のおかれている立場を話合つて帰つてこそわが国の組合運動の前進であり、わが国の完全独立に通ずるものであるということを認識し、平和を守る斗いをこんご一層強め前進しなければならない。

書記局便り

五日　大地評執行委員会
六日　労働部専門部会
七日　荒尾政治局会議
八日　九本調査部長会議
九日　印度代表との懇談会
十日　大地評政治局会議

発行所
三池炭鉱労働組合
大牟田市不知火町二
電話3033番
編集兼発行人　平島敏治
三鉱労組印刷工場

立入禁止處分だす

緊迫深まる　オートレース問題

飯塚市で行われているオートレース場設置問題は、本紙でも前号に掲載しましたように地元農民、労組、主婦会などの坐込みが依然つづけられており、緊迫した状勢の中にあり九州の砂川を思わせる様相を呈しております。

このオートレース場予定地は飯塚市から約八粁の地点にあり、現在紛争の的になつているのは溜池を埋めて整地するという市側と、これに反対する地元農民や支援労組の対立になつています。

現在まで市側ではこの溜池の十分の二ぐらいを埋めていますが、この埋立地の上に坐込み隊は天幕を張り闘いをつづけているのです。

この地点を囲む谷間には支援労組の組合旗が各所に林立して、丘は赤旗の波で埋まるぐらいの壮観さを示し、この中に点々として支援ピケ隊の天幕が張られている。

三鉱労組からも竹下総務部長、松本教宣部員が連日坐込みに敢闘をつづけており、埋立地の天幕の真前に一きわ大きく三池の組合旗がはためいています。

不買運動も申合す

地元側が行つていた仮処分申請は却下され、これに変つて警察側が提出した立入禁止の仮処分が申請八日午後許可されるに至つた。

このため現地では九日急拠闘争委員会を開催したが、この席でつぎの闘いにそなえてつぎのような決定が行われている。

(1)オートレース場設置反対闘争はピケ要員を必要によつてはさらに動員して闘争を継続する。

(2)溜池を埋めたてることはまかりならぬという水利権者の立場から本訴を行う。

(3)中央・地方を通じて従来通り平和的な交渉も併行的に行う。

休山と斗う上添田

会社全員解雇を通告

合理化法に便乗した無謀な炭鉱買上げ申請にたいして、上添田労組では組合員、家族それに添田町総力をあげての反対闘争を展開している。

同炭鉱は組合員七五〇名、職員八〇名、常備臨時夫六〇名で最近の出炭は七、五〇〇トン程度である。

大衆団交を継続

会社は買上げ申請の理由として坑内条件の悪化、赤字の累計など四項目をあげ他に事業所を開く意思はないので全員解雇とするむねの説明をし組合の同意を求めた。

これにたいして組合は会社の勝手な施策を攻撃するとともに事後の闘争方針を討議した結果、かなり条件闘争を行えという意思もあつたが、第一に事業継続を基本として闘う、このため再建策を作成するとともに会社と団交を行い、強力な渉外活動を展開する。これらの方法が不可能となつた場合に条件闘争に入ることを決定した。

しかし会社はこの再建案を一向に見向きもせず全然誠意を示すふうもみられない一方的休山の強行を企図した。

代議員会では

1、解雇通告は一括返上する

2、直ちに大衆動員を行い、大衆団交を継続実施する

3、この間は組合の手で保安確保を行い、資材の搬出作業などは実力で阻止する

4、最悪事態では保安要員差出し拒否及他の入坑者の阻止も考える

など決定をみたので休山強行となれば水漫などの事態が発生されることになつたので現在のところ会社は一応断念したもようであるが、組合の団結が弱まればいつ実施してくるかわからない事態にある。

炭労の闘いとして闘う

上添田が休止すれば添田町の財政は約五〇〇万円の収入減となり、家族を含めた四千人の失業者が出て町の死活問題にもなるので町議会に支援方を請願、町長及び町議会は最大限の支援を約束しており町ぐるみの闘いに発展した。なお買上げ反対、事業継続の添田町民の署名運動も成功している。

なお炭労第十六回の臨時大会でもこの問題が取上げられ対策委員会を設置して闘争指導を行い、炭労の全体闘争として全支部一時間五十分の時限ストを行うむねを満場一致決定しており、大会終了後ただちに野口副委員長および渡辺中小炭鉱対策部長を現地に派遣し、数回にわたる団体交渉を行つている。

俺にもいわせろ

生産性向上運動に反対する

「会社が栄えれば、労働者も良くなる」と教えられ、一生懸命働いて得たものは、天文学的数字であらわされる会社の利益と、軽い給料袋と、げつそりと肉のおちた自分のからだであつた。これはオート三輪車を作る東洋工業の一労働者の言葉である。これをきいて私は資本家のいうことが信じられなくなりました。資本家はいう「いつてみれば国民はみんな同じおひつのめしを食べるのであるからおひつの中のめしをふやしてからでなければ、自分の茶わんに十分のめしを盛ることができないようなものです」会社のためばかりでなく国のためにも闘争などせずによろしく労使仲良く生産にはげみ「生産性向上」によつて、めしびつを大きく（利潤）して、その分前は労働者と国民と最後に資本家というのがその意味だそうです。ここで私たちは考えます。戦後十年炭鉱も大分新らしい機械が入つて生産もあがつた。しかし、どこに私たちの賃金が物価にくらべて良くなつたか。どこに福利厚生が立派に完備されたか、どこで労働が楽になり、どこで労働時間がみじかくなつたか、十年間の尊い経験は生産をあげることは、資本主義のもとでは首切の原因となり、より多く搾取され、労働条件と賃金の引下げ以外なにものもないことを知らされました。とされ生産性向上運動は是非を論ずる段階をすぎ実行されている。闘いこそ自分たちを守るという平凡な真理を生産性向上反対という抽象的なお題目でなく、具体的な職場要求（闘争）の積重ねの中から、資本家の野望を明らかにし、思想的なものとしてとらえていく中で、私たちの生活と権利を守る闘いえと発展させなければならない。労働者が資本家の甘い言葉につられて彼等の思想的統制で完全に管理されることになれば必ず来るべき恐慌の時期には大きな犠牲と苦しみを覚悟しなければならないでしよう

（三川　一組合員）

福岡県第一區の補選に感じて

▲みんなが云いたい事をみんなが聞くべきだ▲一口が一生を明るくする▲天性は苦労の中から

今回の福岡県一区の補選は社党本部より公認された長正路氏に対し県総評は強く反対しているようだが、現因となつたオートレース場の問題は福岡地方版をよまない私に事件の内容は知る由もない。

終し、氏は公認決定に先立つて、同会長を辞任したそうだが、家出した息子が前非を悔い詫びを入れたからにはそれを温く迎えてやる位の度量はもちたいものだ。採決で決つた以上破れた方も潔ぎよくあきらめ、氏の当選に協力し、その後の氏の行動を看視すべきである。

総評としても、その線で協力出来ないものだろうか。仮に反対側より対立候補を立てたとしても先どろの市長戦で破れた地盤が中心の区で到底二名当選は考えられない。そうなれば益々双方の溝が深くなるばかりで心配させられる。我々下部には労働者の唯一の武器は団結だ。そのためにはお互のエゴは排斥すべきだと指示しながら上部で保守政党と同じように泥試合を演ずる失態はつつしんでもらいたい。鳩山内閣の余命いくばくもなく今こそ社会党内閣実現の絶好の機会である。

だが、考えていただきたい事はそのためには少なくとも二百名以上の社党議員を衆議院に送りこまねばならず余りきれいな人物ばかりも云つておれないのではないだろうか。汚職や戦争協力者でなければ残念だが保守系の中からでも広く人材を集め入党させる位の雅量を示し、党も総評もあげて党勢拡張に邁進すべきである。

腐敗の常道を無視した彼等は夕ライ廻しを策し、次の政権はやれ岸だ石井だと暗中模索している事は御承知と思う。私は長氏なら社党議員としての前歴もあり適格と信ずる。

山吹町　渡辺　生

ヤマ分
第七回
応募数